

工学部新聞NO.10

発行日 平成24年10月3日



国際交流 サマープログラム2012!

※本紙のカラー版は工学部HPで公開中です。 <http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/shinbun/index.html>

～目次～

1ページ

・工学部国際連携サマープログラム

2ページ

・科学フェスティバルinよねざわ2012を開催！来場者数1852名！

・未来の山大生へ

～オープンキャンパス2012～

3ページ

・ベトナム・中国の大学生2名が来日!!

・吾妻祭実行委員長にインタビュー!

4ページ

・学会での学生表彰!!

・有機EL照明を使ったアイディアコンテストの展示会

・編集後記

7月30日から8月12日までの二週間、工学部でサマープログラムが開催されました。期間中、マレーシアとタイ、韓国、中国人から来た学生12名と、14名の日本人学生が言葉や文化の壁を超え交流を深めました。

活動内容は、日本語の授業や専門に関する講義、研究室訪問、学外での一泊二日のホームステイ、東松島でのフィールドワークが行なわれました。日本語の授業では、ホームステイ先で役立つような簡単な日本語の会話練習が行なわれました。専門の講義では、先生が自身の研究について英語で講義されました。研究室訪問では、有機EL研究センターへの見学や、オープンキャンパスを利用して興味のある専門分野の研究室を訪問しました。海外の学生は専門的分野や留学のことなどを質問することができ、有意義な時間を過ごすことができました。フィールドワークでは、東松島で震災の被害を受けた海苔養殖業者、旅館経営者、ボランティアの方、地元の漁師の方々とバーベキューしながら交流しました。海外の学生からは「震災から復興までの道のりを聞いて、被害の甚大さとそれに負けない強い意志を感じた。ごはんもとても美味しく、海辺が綺麗でとても癒された。」と活動に満足されていました。

日本人学生は海外の学生と交流し自分の英語力に自信をもった学生もいれば、英語を勉強するモチベーションにつながった学生もいたようです。他にもチームで活動し、英語以外で必要になるコミュニケーションの方法や、論理的思考など多くのことを学ばれたようです。プライベートでは、飲み会や、サプライズ誕生日パーティ、オリンピック観戦など、ハードで楽しい活動を通し、学生同士で大切な絆を結べたのではないのでしょうか。



科学フェスティバルinよねざわ2012を開催! 来場者数1852人!!



7月28、29日に科学フェスティバル in よねざわ 2012が開催されました。当日は天候に恵まれ2日間で1852人の親子連れが足を運びました。今年度は研究室やサークル、企業などの43ブースが出展し、多くの人の注目を浴びていました。

佐野・沖本研究室(機能高分子)の「いろんなものを凍らせてみよう!!~オドロキの低温世界~」や小竹研究室(物質化学)の「マイナス200℃の液体で何でも凍らせてみよう」といったブースでは、液体窒素を使って風船やシャボン玉など普段では凍った状態がみられないものや身近にあるものを凍らせ、その変化を観察する実験が行われていました。この実験には子供たちだけではなく大人も関心を持っているようで、その変化の様子に驚いているようでした。

また、「ソーダロケットを飛ばそう!」のブースでは、フィルムケース内に炭酸ガスを発生させロケットを飛ばして何メートル飛んだかを競っていました。子供たちは自分の作ったロケットを一番にしようと必死になっていました。この他にも、ドライアイスを用いた実験や押し花を作る実験、シャーベットを作る実験、有機ELなども多くの人が訪れていました。子供たちは連日身近に科学を体験して大いに楽しんでいました。



未来の山大生へ ~オープンキャンパス2012

8月3日に山形大学工学部においてオープンキャンパスが開催されました。キャンパス内は来学した多くの高校生でにぎわいました。高校生は本校の大学院生らが説明した、研究室での活動内容を興味深そうに聞いていた様子でした。

オープンキャンパスでは工学部の魅力を伝えるため、研究室公開はじめ学科紹介と模擬講義も開かれました。研究室公開の応用生命システム工学科では、イソギンチャクの蛍光タンパク質を利用して医療現場で細胞のマーカーとして使用する研究があり、「光る!タンパク質をみてみよう」ということでシャーレに取った光るたんぱく質をみることができました。

模擬講義では学科別2「人の理解と支援に役立つ化学、工学、およびロボットの話」、「医療現場での超音波技術と信号処理について」、「太陽電池と暮らしを支える電気電子工学のお話」、「環境を理解するための化学、負荷を減らすための工学のお話」、「バイオテクノロジーのスター、酵素」、「プラスチック成型技術を応用した米粉100%パンの開発」、「少子高齢化社会を支える人間協稼働型ロボット」、「たんぱく質の立体構造と機能」のように話をされました。



ベトナム・中国の大学生が2名!

山形大学工学部は8月28日、これからのグローバル社会に対応する取り組みとして、ベトナム・中国からの短期留学生を受け入れました。この取り組みは互いの国の文化、習慣、歴史を学ぶことで、両国の相互理解を深めることを目的としています。参加したのはベトナムのハノイ大学から5人、中国の延辺大学から1人で、在学中の学生も数人同行しました。研究室見学と日本企業見学が主な活動で見学の移動中は、英語を使って会話を楽しんだり、お互いの母国語を教え合ったり、Facebookのアドレスを交換し合うなどして、交流を深めたそうです。研究室見学では、留学生の旺盛な好奇心と積極性で、質問が幾度となく飛び交っていました。さらに驚いたことは、彼らがカメラと携帯電話を片時も手放さないことでした。興味を引くことや、人と出会う度シャッターを切る彼らに皆、戸惑いと喜びの表情を浮かべていました。また、留学生らはホームステイも体験し、伝統的な日本料理や遊びを楽しまれたそうです。3日間滞在の最終日、留学生らは「日本を離れたくない、また皆に会いに来たい。」と名残惜しい様子でした。現在でも留学生と山大学生の間では、インターネットでの交流が続いているそうです。



第18回吾妻祭を開催します

開催期間:平成24年10月6日(土)~8日(月)

6日会場 米沢女子短期大

7・8日会場 山形大学工学部

今年のテーマは“Voice”

今年のテーマは「VOICE」です。「VOICE」は人々の声、メッセージ、想いを表しています。その「VOICE」つまり想いを米沢から全国へ、吾妻祭から全ての人へ発信し、たくさんの人に吾妻祭を知ってもらいたいと思い、このテーマを掲げたそうです。吾妻祭実行委員一同、より多くの人の「VOICE」に耳を傾け、人と人とのつながりを大切にす吾妻祭にしたいとのことでした。

今年の新企画!!

また、今年は新企画「東北6県食べ歩き企画」を行うそうです。この企画は、東北6県の郷土料理を皆さんに食べていただき、東北の各々の県の味を楽しんでもらう企画です。7日・8日の2日間で行い、1日3県ずつ振る舞います。

さらに、毎年恒例のお化け屋敷にも力を入れて準備を行っているとのこと。「ひとりかくれんぼ」という設定で、整理券配布する際にPVを観てもらいより怖さを体感できるよう工夫しているそうです。今年もたくさんの催しや屋台などが行われる吾妻祭に、皆さん足を運んでみてはどうでしょうか。

吾妻祭実行委員長と副委員長にインタビュー!!



【菅野早悠里(米短2年)】 昨年と同じ催しもありますが、今年のテーマ「VOICE」や「東北食べ歩き」の企画は、震災があったこともあり、より深い意味があると思います。お客さんの“楽しかった”“がたくさん聞ける吾妻祭にしたいです！”

【鈴木盛也(工学部3年)】 新企画もあり不安もありますが、実行委員一同、当日まで頑張り、お客さんに満足してもらえるよう頑張ります！



学会等での表彰一覧

「みちのく分析科学シンポジウム2012 優秀ポスター賞」!
 ぬまた けんたろう
沼田 健太郎 さん 平成24年7月21日受賞
 バイオ化学工学専攻 (水口研究室)
 題目: トラックエッチ膜フィルター電極を用いる
アノードストリッピング法による
Hg (II) イオンのフローインジェクション分析

「みちのく分析科学シンポジウム2012 優秀ポスター賞」!
 たきざわ のりふみ
瀧澤 典史 さん 平成24年7月21日受賞
 物質化学工学専攻 (遠藤昌敏研究室)
 題目: ゼオライト含有不織布を用いる
セシウムの吸着および脱離挙動

「WET Excellent Presentation Award」!
 ひさち かずひろ
曳地 和博 さん 平成24年6月30日受賞
 物質化学工学専攻 (遠藤昌敏研究室)
 Theme: The Variation in Dissolved Metal Ions and
the pH-Buffering Effect Arisen
from Those Metal Ions in an Acidified River Environment

「日本接着学会大会50周年次大会ベストポスター賞」!
 こいずみ りょう
小泉 遼 さん 平成24年6月29日受賞
 有機デバイス工学専攻 (森・中林研究室)
 題目: 両親媒性シルセスキオサン微粒子を基盤とした
新規有機-無機ハイブリット材料の開発と
機能性薄膜・接着剤への展開

「プラスチック成型加工学会 第23回年次大会優秀学生ポスター賞」!
 チュ ドンファイ
秋 東輝 さん 平成24年6月12日受賞
 博士後期課程 有機材料工学専攻 (伊藤・高山研究室)
 題目: 精密加工による高分子表面への撥水性の付与

「日本食品科学光学会第59回大会『若手の会・企業賞』」!
 おおた あみ
太田 亜美 さん 平成24年8月30日受賞
 機能高分子工学専攻 (西岡研究室)
 題目: 非晶性米粉を用いた米粉100%生地
のレオロジー特性と製パン性の相関解明

「Incentive Award for Poster Presentation」!
 はらだ しょう
原田 翔 さん 平成24年4月25日受賞
 機械システム工学専攻 (古川研究室)
 Theme: Novel Shape Memory Gels
for Soft Polymeric Actuator -Mechanism and Applications-

「The Best Poster Award in ASMP2012」!
 むらい ひさと
室井 寿人 さん 平成24年8月31日受賞
 機械システム工学専攻 (古川研究室)
 Theme: Optical 3D Printing of Soft And
Wet Industrial Materials

○有機EL照明を使った
アイデアコンテストの展示会
 学科混合の工学部生チームが有機EL照明パネルの新しい利用法の提案、制作に挑戦しました。各チームの作品は、吾妻祭とホームカミングデイと同日に展示されます。
 展示会の日時・場所: 10月6日(土) 大示範前展示
 7・8日(日・月) 6号館2階自習室
 成果発表会の日時・場所: 16日(月)の16時から、ものづくりセンターA棟2階



編集後記

みなさん! 今回の工学部新聞はいかがでしたか? 米沢キャンパスでのイベントがあれこれ沢山ありました。みなさんはどれに参加しましたか? 工学部新聞秋号もイベントを盛り上げる学生たちと、喜ばしい表彰者たちのおかげで紙面ににぎわいました。インタビューに応じて下さった皆さんありがとうございます。これからもご活躍なさってください!
 また、皆さんからのこれは新聞に載せたい! という出来事は編集部員にどしどしお知らせください。サークル活動の報告もお待ちしています。
 さて、編集部に新しい風が舞いこみました。なんと新しく部員が2名も入ってくれました。電気電子工学科2年の佐藤雄亮君と応用生命システム工学科2年の土屋みなみさんです。総勢5名で新聞をお届けします。